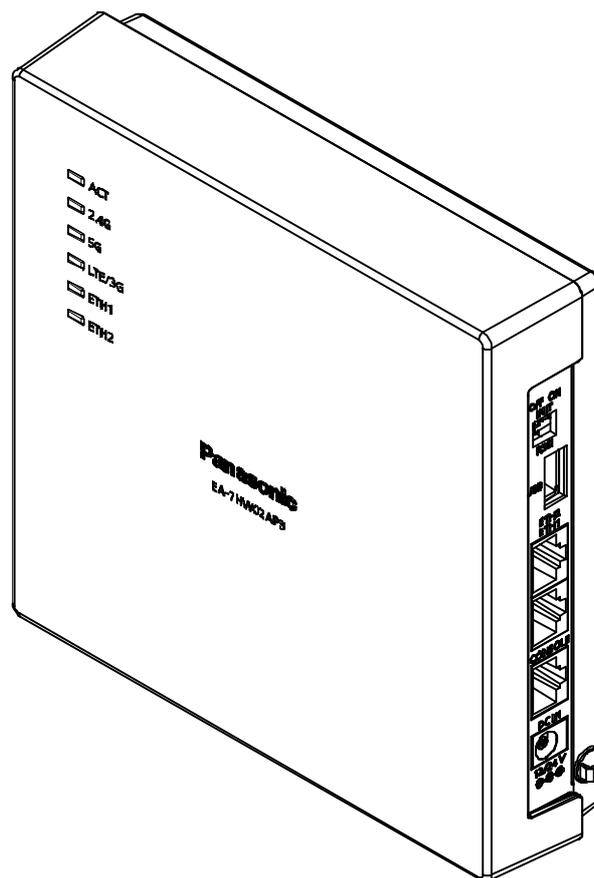


## 取扱説明書（工事編）

### 業務用 Wi-Fi 基地局 Wireless LAN Access Point

品番 EA-7HW02AP3



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

取扱説明書（工事編）をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## はじめに

取扱説明書（工事編）（以下、本書という）は、業務用 Wi-Fi 基地局（以下、本装置という）を利用される方が、正しく、安全に設置を行えることを目的として記載しています。

本装置を取り扱う前に本書をよく読み、記載されている指示や注意を十分に理解してください。

取扱説明書は以下の3種類です。

- ・「取扱説明書（基本編）」…安全上のご注意、基本的な設置方法などを記載しています。
- ・「取扱説明書（工事編）」…設置方法、接続方法などを記載しています。
- ・「取扱説明書（設定編）」…操作や設定方法などを記載しています。

#### 商標について

- ・Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- ・イーサネット/Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- ・その他、本文中に記載の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

#### お知らせ

- ・本書の内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。
- ・「アクセスポイント」「AP」「無線ユニット」「EA-7HW02AP3」は、業務用Wi-Fi基地局を示しています。
- ・「車載用取付金具」は、別売品（EA-7HW00KG1）のことを示しています。

#### 免責事項について

- ・本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電時の外部要因によって通話、録音等の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・地震、雷、風水害などの天災、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失および誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本装置は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本装置をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# もくじ

---

はじめに	1
もくじ	3
安全上のご注意	4
設置・使用上のお願い	8
事前にご用意いただくもの	12
機器・付属品の確認	13
外観・寸法	14
各部の名称とはたらき	18
給電方式	20
インターフェース仕様	21
設置場所の決定	23
SIMカードの挿入方法	24
設置方法	26
有線ネットワーク接続と電源接続方法	29
初期化	30
受信感度表示 (LTE/3G)	31
セルフテストによるアラーム表示	32
車載用取付金具 (別売品) の取り扱い	33
こんなときには	37
仕様	38
保証とアフターサービス	39

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	<b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

本体

 **警告**

 分解禁止	分解・改造をしない 火災や感電の原因になります。
 禁止	自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	医療機器の近くには設置しない アクセスポイントからの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない 取付部が劣化して、落下など事故の原因になります。
	天井・荷重に耐えられない場所や不安定な場所には設置しない 落下など事故の原因になります。
	雷が発生したときは、アクセスポイント・接続したケーブル類に触れない 感電の原因になります。



## 警告

 禁止	<p>電源を入れたまま配線工事をしない 感電の原因になります。</p>
	<p>指定の AC アダプタ以外は使用しない 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>使用を終了した装置は放置しない そのまま放置しておく、落下など事故の原因になります。</p>
	<p>ブレーカや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外の電圧での使用はしない 定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
	<p>電源コード・プラグ・AC アダプタ本体を破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など） 痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグや AC アダプタの修理は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。</p>
	<p>アクセスポイント・AC アダプタ本体を水につけたり、水をかけたり、ぬらしたりしない ショートにより、火災や感電の原因になります。</p>
	<p>同梱された電源コードは他の製品に使用しない 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>SIM カードは乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、けがの原因になります。 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
 必ず守る	<p>心臓ペースメーカーの装着部位から 15 cm 以上離す 電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。</p>
	<p>煙が出たり、異常発熱したり、異臭・異音がした場合や落下・破損した場合は、電源を落とし、本装置の使用を中止する そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。 すぐに使用を中止し、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。</p>
	<p>モルタル壁などへの取り付け時、マウンタ、ねじ等をメタルラス、ワイヤラスまたは金属板と接触しないように設置する 装置の絶縁が劣化した場合、メタルラス等に漏電し、火災の原因になります。</p>



## 警告

 必ず守る	電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。



## 注意

 禁止	工事中に本装置を落下させない けがの原因になることがあります。
	高温になる場所に設置しない 装置内部の温度が上がり、火災や感電の原因になることがあります。
	指定された SIM カード以外は使用しない (株)NTT ドコモの SIM カードまたは NTT ドコモネットワークを利用する MVNO 事業者以外の SIM カードは利用できません。 ご利用可能な MVNO 事業者は本装置をお買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社にお問い合わせください。
 必ず守る	設置をするときは指定の固定方法で取り付ける 正しく設置しないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。 設置方法については、必ず本書をお読みください。
	コンセントへの抜き差しは電源プラグを持って行う 電源コードを引っ張ると、コードが破損し、感電、ショートや火災の原因になることがあります。
	長時間使用しないときや、お手入れ、保守をするときは必ず電源を落とす 漏電や感電の原因になることがあります。

## 車載用取付金具

### 警告

 分解禁止	分解・改造をしない 火災や感電の原因になります。
 禁止	天井・荷重に耐えられない場所や不安定な場所には設置しない 落下など事故の原因になります。  電源を入れたまま配線工事をしない 感電の原因になります。

### 注意

 禁止	工事中に車載用取付金具を落下させない けがの原因になることがあります。
 必ず守る	設置をするときは指定の固定方法で取り付ける 正しく設置しないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。 設置方法については、必ず本書をお読みください。

# 設置・使用上のお願い

---

本装置を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

## 設置工事のお願い

- ・本装置は、屋内装置です。  
車内に設置する場合は、別売品の車載用取付金具を使用してください。

## 設置場所・使用上のお願い

- ・通常使用状態で人体から 20 cm 以上離れた場所に設置してください。
- ・本装置は付属のスタンドやマウンタもしくは別売品の車載用取付金具を用い、指定の設置方法で使用してください。
- ・設置工事業者以外は取付工事を行わないでください。  
正しく設置を行わないと、ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。
- ・暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。  
本装置の表面や部品が変形、劣化し、故障の原因になります。
- ・火気を近づけないでください。  
本装置の表面や部品が変形、劣化し、故障の原因になります。
- ・硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、その他有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。
- ・電磁波発生源や磁気を帯びたもののある場所に置かないでください。  
(高周波ミシン・電気溶接機・磁石など)  
雑音の発生や故障の原因になります。
- ・機器に強い衝撃や振動を与えないでください。  
落としたり、ぶついたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。
- ・廃棄時は、産業廃棄物として適切に処理してください。

## お手入れについて

- ・お手入れは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・本装置の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水に布を浸し、固く絞ってから軽くふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジン、ワックス、石油、石けん、みがき粉、熱湯、粉石けんは使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

---

## 電波に関する留意点について

第二世代小電力データ通信システムの無線局を屋外固定局として運用するにあたっては、当該無線局の所有者名または事業社名と連絡先を表示する必要があります。以下が表示内容です。

無線局の表示：2.4 GHz 帯小電力データ通信システムの無線局  
所有者名または運用業者名  
連絡先：電話番号またはEメールアドレス、もしくはホームページアドレスなど  
その他、電波干渉回避に有用な情報など

表示方法としてはシール、銘板、印刷、手書きなどで、無線装置本体、あるいは収容ケースなどの、特別な操作を必要としないで確認できる場所に表示してください。

本装置は、電波法に基づく無線設備（2.4 GHz 帯高度化小電力データ通信システムおよび5 GHz 帯小電力データ通信システム）の技術基準への適合が証明されています。従って、本装置を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本装置は日本国内のみで使用できます。

本装置は、技術基準の適合が証明されておりますので、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

本装置を分解 / 改造すること（周波数、アンテナの変更をしてはいけない）

本装置の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと

本装置は、下記の認定番号を取得した通信モジュールを使用しています。

(1) 技術基準適合証明番号：003-140003

(2) 技術基準適合認定番号：D140001003

5 GHz 帯（IEEE802.11a/n/ac）は電波法により屋外で使用可能な周波数が制限されています。

・5 GHz 帯（IEEE802.11a/n/ac）の対応チャンネルは、36ch～48ch（W52）、52ch～64ch（W53）、100ch～140ch（W56）です。

・W52 および W53 は屋内使用限定です。W56 は屋外でも使用可能です。

屋外使用時には、W52 と W53 を選択しないように設定を行ってください。

本装置は屋外装置ではありません。

・W53 および W56 に対応するため、電波制御機能 DFS、TPC が使用されています。

・2005年5月省令改定以前のチャンネル（J52）を使用した無線 LAN 機器とは、チャンネルが一致しないため通信を行うことができません。

2.4 GHz 帯（IEEE802.11b/g/n）の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

・本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

- 
- ・この機器を 2.4 GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1, CH6, CH11 のいずれかにすることを推奨します。
  - ・その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社までご連絡ください。

使用周波数帯域 : 2.4 GHz  
変調方式 : DS-SS 方式 / OFDM 方式  
想定干渉距離 : 40 m 以下  
周波数変更の可否 : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」  
「特定小電力無線局」帯域を回避可能  
本装置には、これを示す右記のマークが貼付されます。

**2.4DS4 / OF4**

### 無線 LAN 製品使用時のセキュリティーについて

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本装置間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

#### 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

#### 不正に侵入される

- ・悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）  
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや本装置は、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っているので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、併せてご使用になる環境に応じたその他対応（物理的なセキュリティーによる盗難対策や VPN 機能の利用による盗聴防止など）を行ったうえで製品を使用することをお勧めします。

---

## LTE/3G 機能について

- LTE/3G 機能を利用するためには、(株)NTTドコモまたはNTTドコモネットワークを利用するMVNO事業者との契約が必要です。詳しくは(株)NTTドコモまたはNTTドコモネットワークを利用するMVNO事業者までお問い合わせください。
- ご利用可能なMVNO事業者は本装置をお買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社にお問い合わせください。
- LTE/3G 機能は(株)NTTドコモが提供するXiエリアまたはFOMAエリアでのみご利用いただけます。また、日本国外ではご使用いただけません。
- LTE/3G 機能は、無線を使用しているため、通信サービスエリア内であっても、地下や山間部など電波の届きにくい場所ではご利用いただけない場合があります。また、高層ビル等の高層階でもご利用いただけない場合があります。電波状況の悪いところでは通信が切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- (株)NTTドコモが販売するSIMカードまたは、MVNO事業者が販売するSIMカードを取り付けていない場合は、LTE/3G 機能はご利用いただけません。

# 事前にご用意いただくもの

---

設置工事を行うには次のものがが必要です。本装置には同梱されていませんので別途ご用意ください。

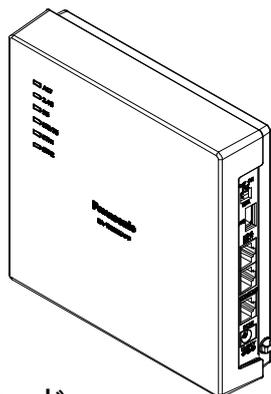
- Ethernet ケーブル（エンハンスドカテゴリ 5 以上、Ethernet 使用時のみ）
- 落下防止ワイヤー  
十分な強度のあるものを選定してください。（破断荷重 1 kN 以上）  
推奨品 ステンレスワイヤーロープ：TM-173-C3（栃木屋）
- 束線バンド
- マウンタ固定用のねじ（呼び径 4 mm を 2 本 付属のマウンタ使用時のみ）  
本ねじは、壁面の材質に合わせて工事業者様にて準備願います。
- 車載用取付金具固定用のねじ（呼び径 4 mm を 4 本 別売品の車載用取付金具使用時のみ）  
本ねじは、壁側の材質に合わせて工事業者様にて準備願います。
- 工具類（ドライバーおよび特殊ドライバー）  
特殊ドライバーは T 型いじり止めトルクスレンチ（呼び径 T8）
- SIM カード（micro SIM）

# 機器・付属品の確認

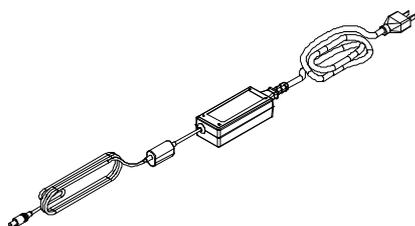
---

以下の機器・付属品が揃っているか確認します。

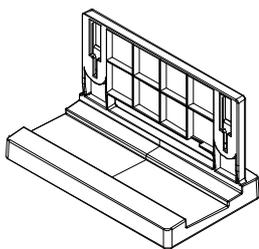
本体



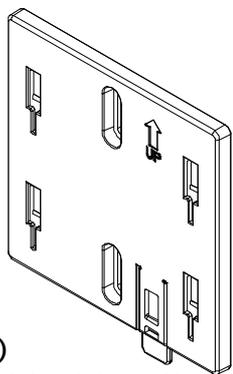
ACアダプタと電源コード



スタンド



マウンタ



取扱説明書（基本編）

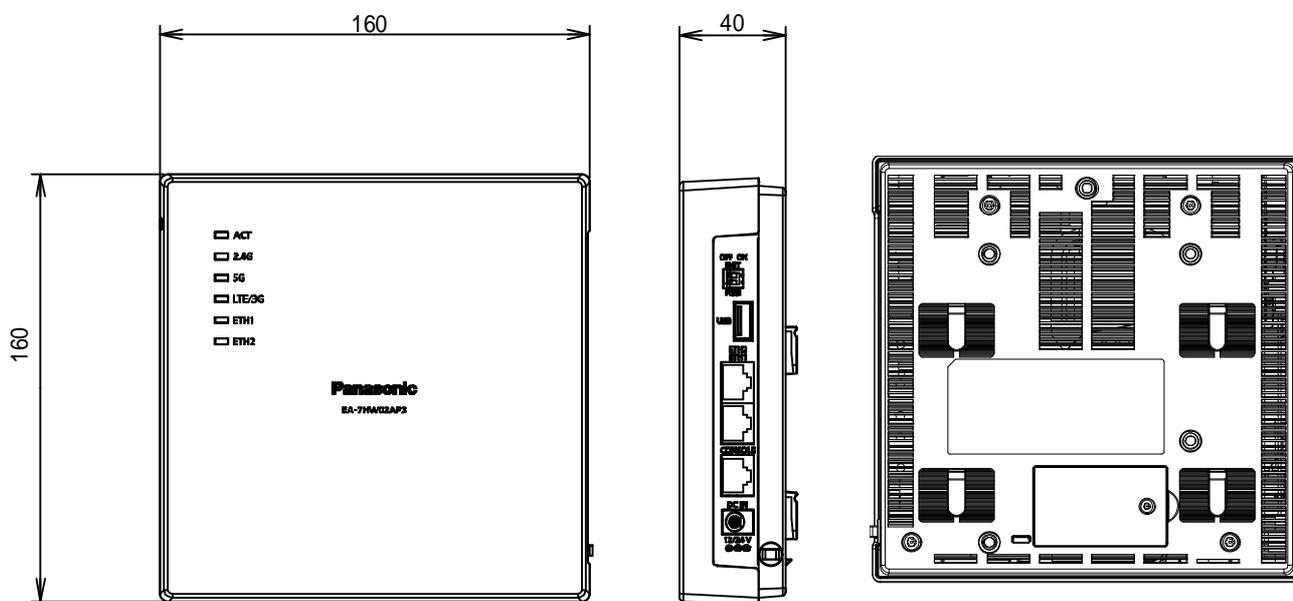
M4ねじ1本（落下防止接続部に落下防止ワイヤーを固定するために使用します。）

# 外観・寸法

## 本体 外観図

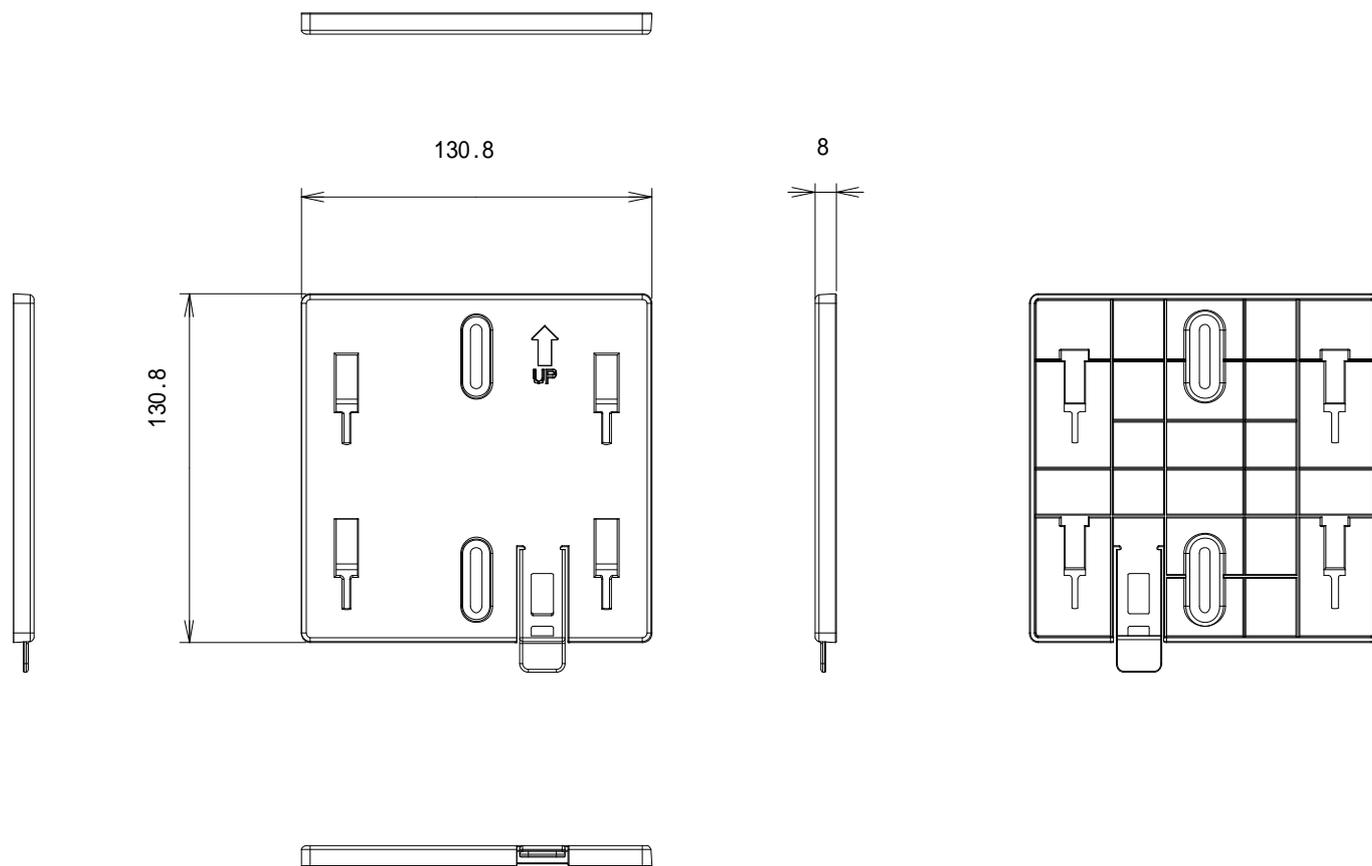
本装置の仕様は予告なく変更することがあります。

単位：mm



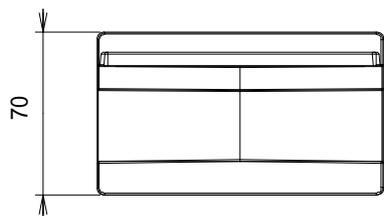
# マウンタ 外観図

単位 : mm

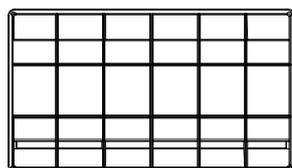
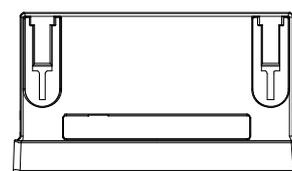
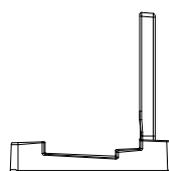
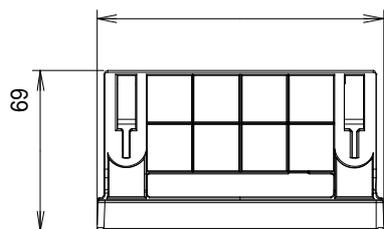
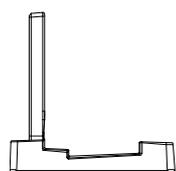


# スタンド 外観図

単位：mm

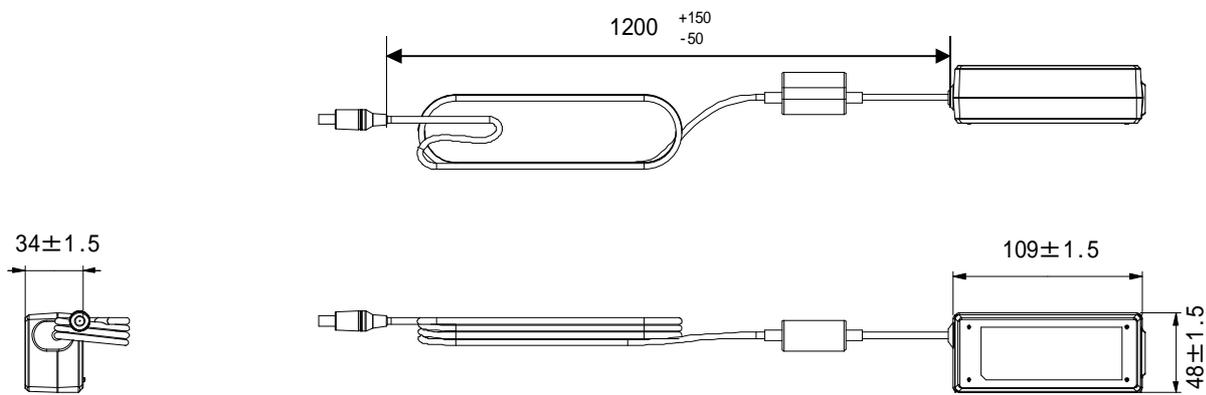


122



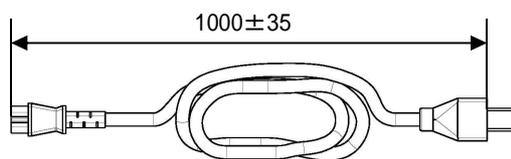
ACアダプタ 外観図

単位：mm



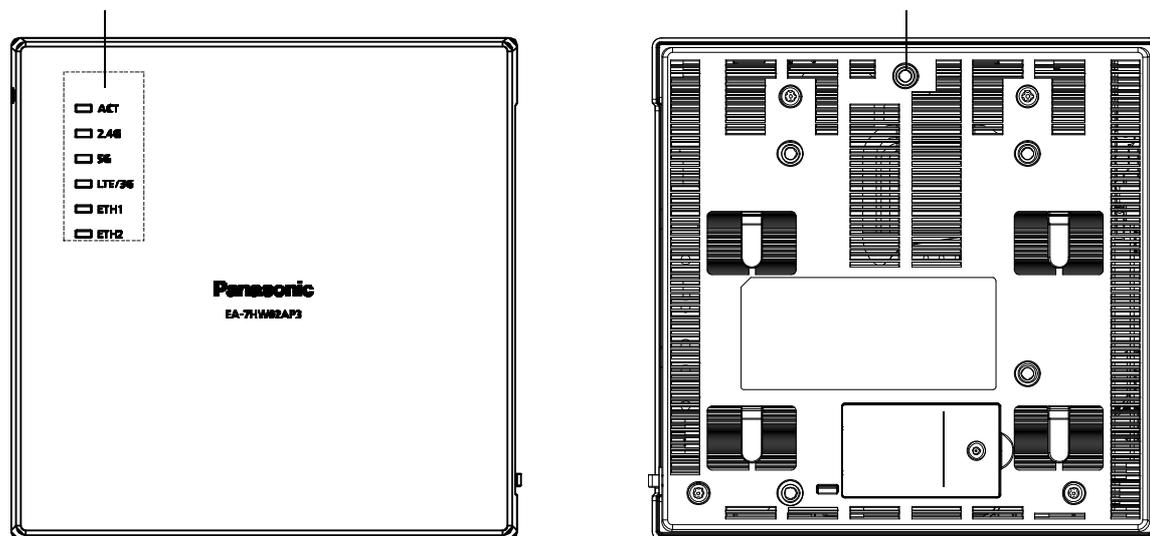
電源コード 外観図

単位：mm



# 各部の名称とはたらき

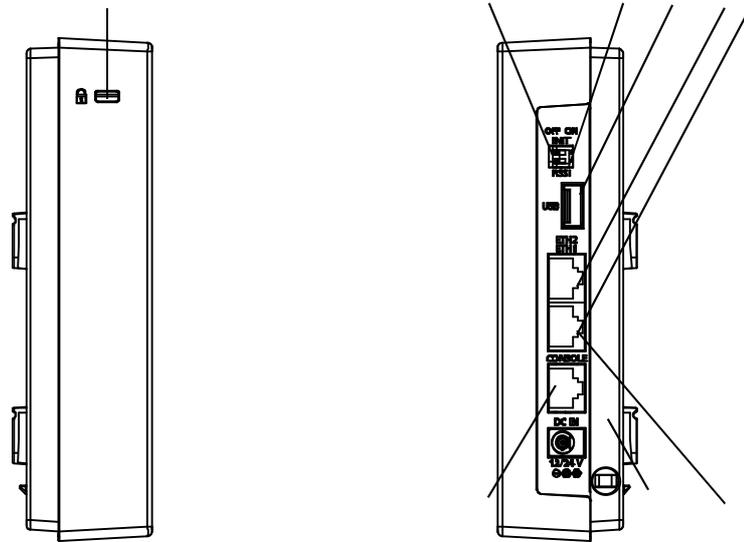
前面・背面



番号	名前	はたらき	
ACT LED <sup>1</sup>		緑点灯	運用中
		緑点滅	起動処理中
		赤点灯	障害検出
		赤点滅	INITスイッチによる初期化実施、ダウンロード中、バージョンアップ処理中
2.4G LED <sup>1</sup>		緑点灯	通常運用中
		消灯	起動中 / 閉塞状態
5G LED <sup>1</sup>		緑点灯	通常運用中
		消灯	起動中 / 閉塞状態
LTE/3G LED <sup>1</sup>		緑点灯	通常運用中
		緑点滅	圏外 / 接続中
		消灯	閉塞状態 / 未設定
ETH1,2 LED (Ethernet LED)		緑点滅	フレーム送受信中
		緑点灯	リンク確立
		消灯	リンク断
落下防止接続部		落下防止ワイヤーを取り付けるための端子です。	
SIMカード取付口		内部にSIMカードを実装するソケットがあります。	

1 RSSIスイッチがONのときは点灯条件が異なります。「受信感度表示(LTE/3G)」を参照ください。

側面



番号	名前	はたらき
	ケンジントロック	本装置盗難防止用に使用します。
	INIT スイッチ	構成データ、ログデータを初期化します。
	RSSI スイッチ	正面の LED が受信電界強度 (LTE/3G) を示すモードになります。
	USB コネクタ (USB2.0 Type A)	USB 機器を接続します。
	ETH1,2 コネクタ	Ethernet ケーブルを接続します。
	CONSOLE コネクタ	パソコンなど保守用のコンソールを接続します。
	ホルダー	束線バンドで AC アダプタの抜け防止に使用します。
	DC IN ジャック	付属品の AC アダプタの DC プラグを接続します。

# 給電方式

---

付属の AC アダプタを使用してください。バッテリーなど DC 電源から DC 給電される場合は定格 DC12/24 V を入力してください。

お願い

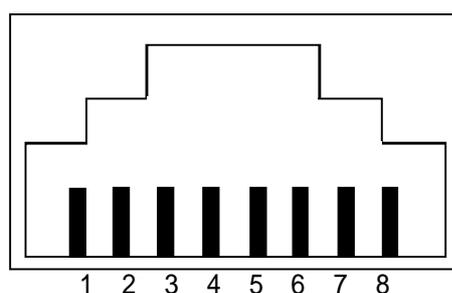
AC アダプタを使用しないで直接 DC 給電される場合は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。

# インターフェース仕様

## Ethernet インターフェース仕様

使用速度	ケーブルタイプ	コネクタタイプ	伝送距離
10BASE-T/ 100BASE-TX	カテゴリ 5	RJ-45	100 m
1000BASE-T	エンハンスド カテゴリ 5		

### < LAN (RJ-45) コネクタ >



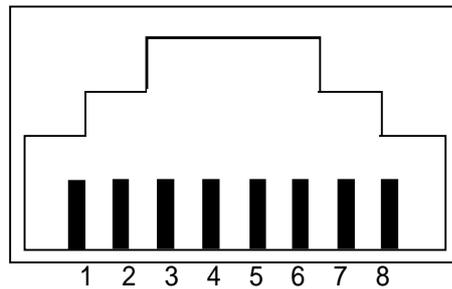
(本体側コネクタ)

ピン番号	10/100Base 本装置側 (MDI)	10/100Base 本装置側 (MDI-X)	1000Base-T 本装置側 (MDI)	1000Base-T 本装置側 (MDI-X)
1	Tx +	Rx +	BI_DA +	BI_DB +
2	Tx -	Rx -	BI_DA -	BI_DB -
3	Rx +	Tx +	BI_DB +	BI_DA +
4	未使用	未使用	BI_DC +	BI_DD +
5	未使用	未使用	BI_DC -	BI_DD -
6	Rx -	Tx -	BI_DB -	BI_DA -
7	未使用	未使用	BI_DD +	BI_DC +
8	未使用	未使用	BI_DD -	BI_DC -

---

## コンソールインターフェース仕様

### <コンソール (RJ-45) コネクタ>



(本体側コネクタ)

ピン番号	本装置側 (DTE)
1	RTS
2	DTR
3	TxD
4	GND
5	GND
6	RxD
7	未使用
8	未使用

# 設置場所の決定

---

付属品のマウンタやスタンドを使用し、壁面・机上への設置ができます。  
また、別売品の車載用取付金具を使用することにより、車内への取り付けが可能になります。  
「安全上のご注意」「設置・使用上のお願い」を考慮し、設置場所を決定します。

## お願い

通常使用状態で人体から 20 cm 以上離れた場所に設置してください。

天井への取り付けはしないでください。

机上で使用する際は、必ずスタンドを使用してください。

無線ユニットを保持するための十分な強度があり、平坦な面に設置します。

本体の質量は約 470 g です。

付属のマウンタで壁面設置する場合は、装置本体上側から 30 mm 以上（マウンタ上側から 40 mm 以上）のスペースが必要です。製品引っ掛けストロークを確保してください。

落下防止ワイヤーは、十分な強度のあるものを選定してください。（破断荷重 1 kN 以上）

推奨品 ステンレスワイヤーロープ：TM-173-C3（栃木屋）

無線ユニットは、振動等からの経年変化によるゆるみ、倒れが生じないように、強固に設置してください。  
無線ユニットの近傍に金属やコンクリートなどアンテナの性能に影響するものがないことを確認してください。

LTE/3G 機能を利用する場合は、SIM カードを挿入してください。

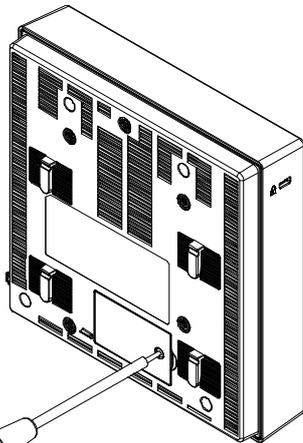
使用可能な SIM カードのサイズは microSIM です。

「安全上のご注意」「設置・使用上のお願い」をよくお読みのうえ、設置場所を決定してください。

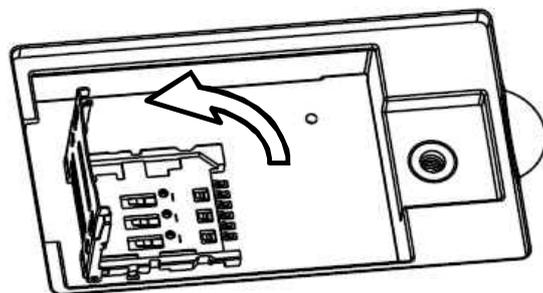
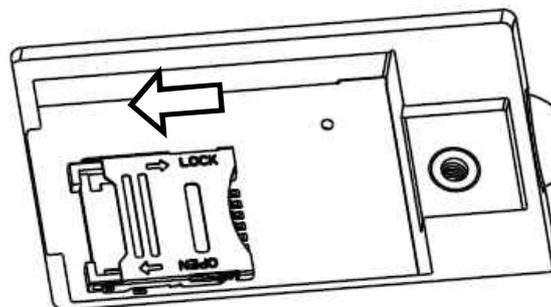
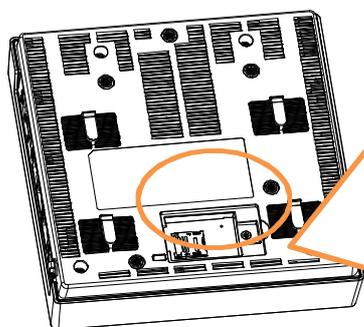
# SIM カードの挿入方法

LTE/3G 機能を利用する場合は、設置を行う前に電源を切断し、SIM カードを挿入します。

特殊ドライバーを使用し、SIM カード取付カバーを外します。

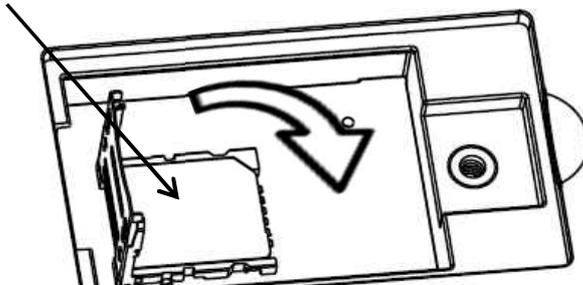


LOCK/OPEN カバー（金属部）を OPEN 方向にスライドし、持ち上げます。

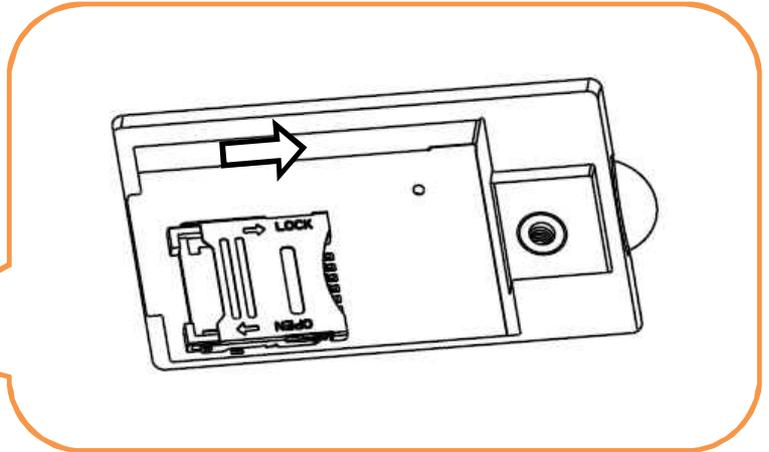
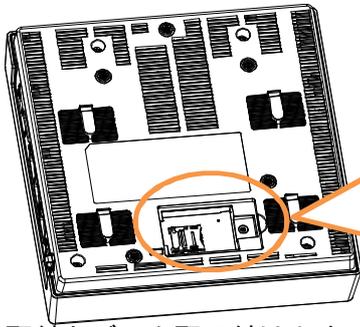


SIM カードの接点部分を下にして、挿入します。  
LOCK/OPEN カバーを倒します。

SIM カード



LOCK/OPEN カバーを LOCK 方向にスライドします。  
LOCK されると「カチッ」と音がなります。



SIM カード取付カバーを取り付けます。

お願い

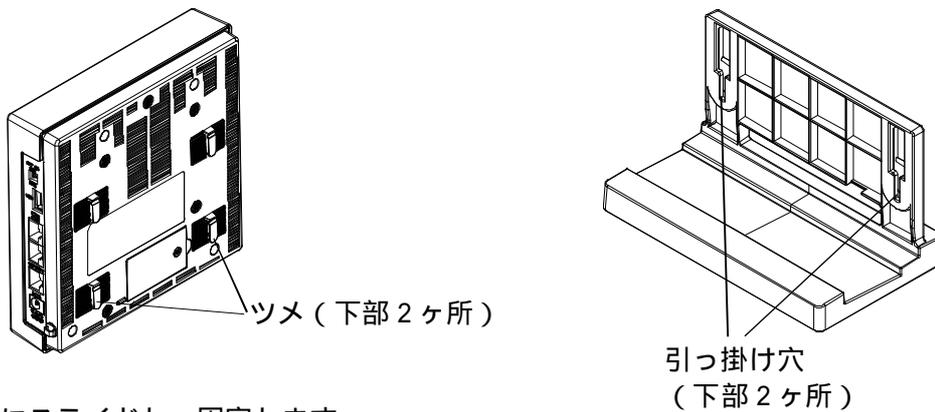
SIM カード取付カバーは、T 型いじり止めトルクスレンチ（呼び径 T8）を用いて固定してください。  
（推奨締め付けトルク： $0.23 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.03 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $2.3 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 0.3 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }）

推奨工具：W-81 ヘックスローブレンチセット（ホーザン株式会社製）

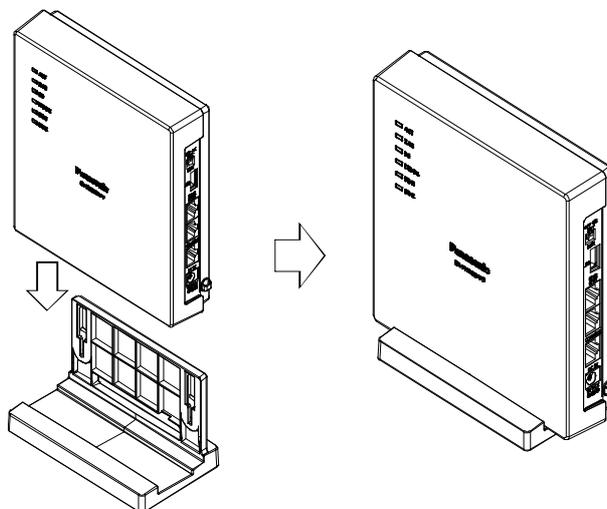
# 設置方法

## 机上設置

本体のツメ（下部 2 ヶ所）をスタンドの引っ掛け穴に合わせます。



本体を下側にスライドし、固定します。

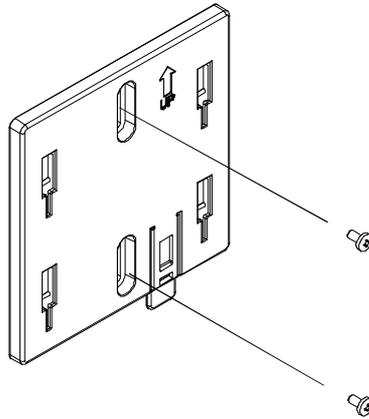


お願い

机上で不安定な場合は、耐震マット等の滑り止めや落下防止ワイヤーの使用をお勧めします。

## 壁面設置（屋内）

設置場所が平滑なコンクリート、金属、木、モルタル等のしっかりとした面であることを確認します。マウンタ上部のねじを設置面に仮止めします。マウンタが平行になることを確認し、上下2本のねじをしっかりと締め付けます。



### お願い

マウンタを設置面に固定するねじは、呼び径 4 mm でトラスねじもしくはバインドねじで、ねじ頭の直径が 10 mm 以下のものを使用してください。

(推奨締め付けトルク :  $0.85 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$  {  $8.7 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$  } )

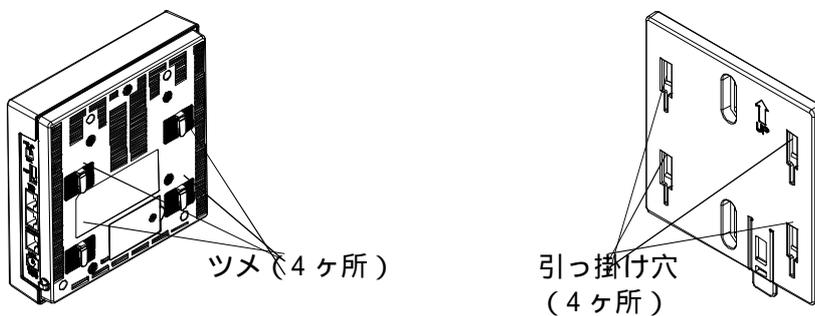
本ねじは、壁面の材質に合わせて工事業者様にて準備をお願いします。

取付場所のねじ引き抜き強度は、1本あたり  $30 \text{ N}$  {  $3.1 \text{ kgf}$  } 以上が必要です。

天井には設置できません。

壁面に固定されたマウンタに本体を固定します。

本体背面のツメ（4ヶ所）をマウンタの引っ掛け穴（4ヶ所）に引っ掛けます。



「カチッ」と音が出るまで本体を下にスライドさせます。

---

## 落下防止ワイヤーの取付方法

落下防止接続部に落下防止ワイヤーを取り付けてください。

お願い

本体と落下防止ワイヤーを固定するねじは、付属の M4 ねじを使用してください。  
(推奨締め付けトルク :  $0.85 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$  {  $8.7 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$  } )

# 有線ネットワーク接続と電源接続方法

---

## 有線ネットワーク接続

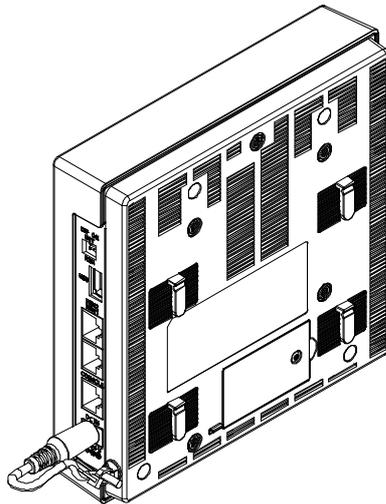
Ethernet ケーブル (エンハンスドカテゴリ 5 以上推奨) を ETH コネクタに接続します。  
「カチッ」と音になるまで RJ-45 プラグを差し込みます。

## 電源接続

束線バンドを用意します。

付属の AC アダプタの DC プラグを本体の外部インターフェース部にある DC IN ジャックにしっかりと接続します。

幅 3 mm 以下の束線バンドで DC ケーブルをホルダーに束線します。



お願い

束線バンドで DC ケーブルを締めすぎないようにご注意ください。

# 初期化

---

初期化のコマンドを使わず、無線ユニットを直接初期化（構成データ、ログデータを工場出荷時の値）することができます。

INITスイッチを竹串など先端の細いものでONにした状態でDCプラグを接続し、電源を投入してください。  
静電気を除去してから作業してください。

ACT LED が赤点滅になります。  
（電源投入から約 50 秒かかります）

ACT LED が緑点灯になりましたら初期化された状態で起動が完了します。  
（電源投入から約 220 秒かかります）

INITスイッチを竹串など先端の細いものでOFFに戻してください。

インターフェース	初期設定	備考
Wi-Fi インターフェース（2.4 GHz）	無効	インターフェース有効設定後の初期値 1ch, HT40
Wi-Fi インターフェース（5 GHz）	無効	インターフェース有効設定後の初期値 36ch (W52), HT80
LTE インターフェース	無効	
Ethernet (ETH)		初期設定固定 IP（192.168.0.3/24）

# 受信感度表示（LTE/3G）

パソコンを使用しないで、無線ユニットの受信感度を表示することができます。

電源を投入し、ACT LED が緑点灯することを確認してください。  
（電源投入から約 220 秒かかります）

RSSI スイッチを竹串など先端の細いもので ON にします。  
静電気を除去してから作業してください。

前面の LED により、受信感度を確認することができます。

確認後、RSSI スイッチを竹串など先端の細いもので OFF にし、通常状態に戻してください。  
静電気を除去してから作業してください。

以下にスイッチ ON 時の LED 点灯状態を説明します。

名前	LTE/3G 状態				
	電界強度 強	電界強度 中	電界強度 弱	接続中 または 圏外	設定なし または 閉塞状態
ACT LED	点灯	消灯	消灯	消灯	消灯
2.4G LED	点灯	点灯	消灯	消灯	消灯
5G LED	点灯	点灯	点灯	消灯	消灯
LTE/3G LED	点灯	点灯	点灯	点滅	消灯

# セルフテストによるアラーム表示

本装置は起動時に自動的にセルフテストを行い、異常が検出されると本装置にある LED の表示により、検出された各種アラームを表示します。セルフテストにて異常が出た場合は、電源を OFF して、本装置をお買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご連絡ください。

アラーム種別	FROM チェック異常	RAM チェック異常	製造番号異常	MAC アドレス異常
ACT LED	赤点灯	赤点灯	赤点滅	赤点滅
2.4G LED	消灯	消灯	消灯	消灯
5G LED	消灯	消灯	消灯	消灯
LTE/3G LED	消灯	消灯	消灯	消灯

## 《留意点》

- ・ LED のテストとして、起動時に LED が点灯します。  
その後セルフテスト終了までは、LED は消灯したままになります。  
正常終了時の LED 表示内容については、「各部の名称とはたらき」をご参照ください。

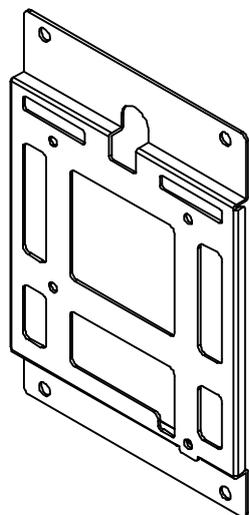
# 車載用取付金具（別売品）の取り扱い

---

## 機器・付属品の確認

車内に設置する場合、車載用取付金具（EA-7HW00KG1）をご使用ください。  
以下の機器・付属品が揃っているか確認します。

## 車載用取付金具

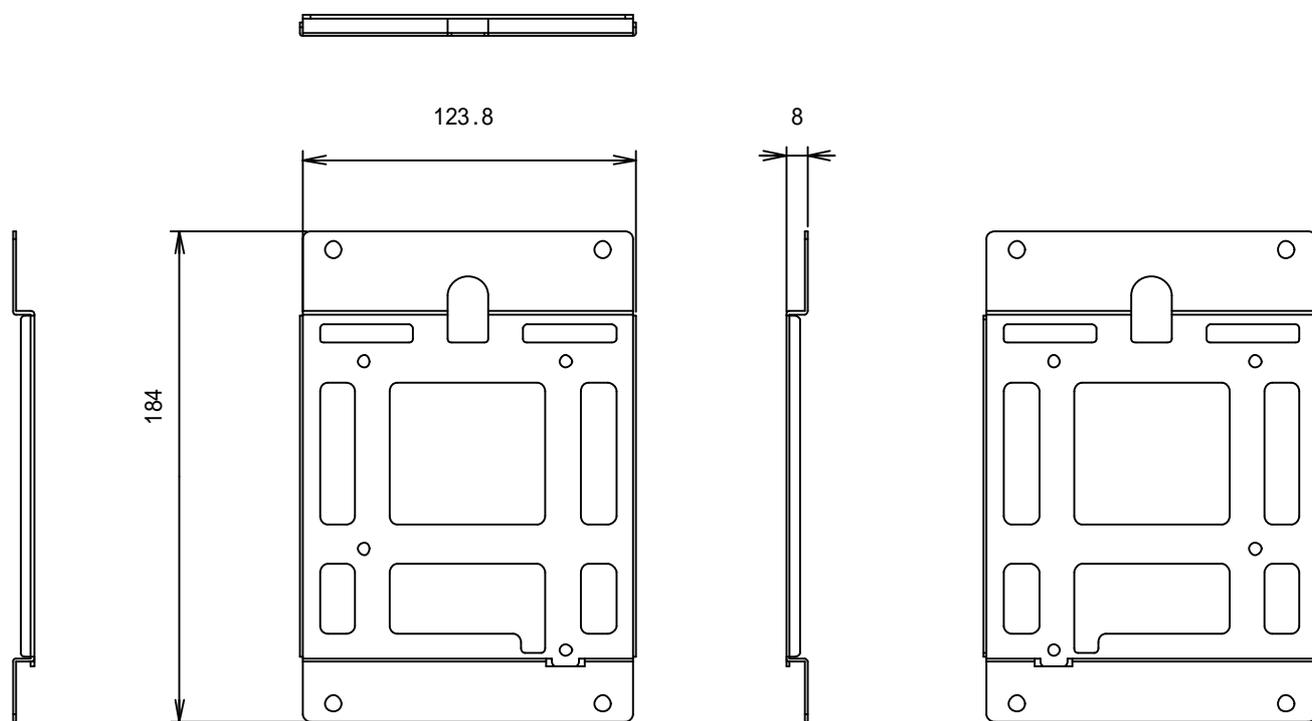


M4 ねじ（4本）

## 車載用取付金具 外観図

本装置の仕様は予告なく変更することがあります。

単位：mm

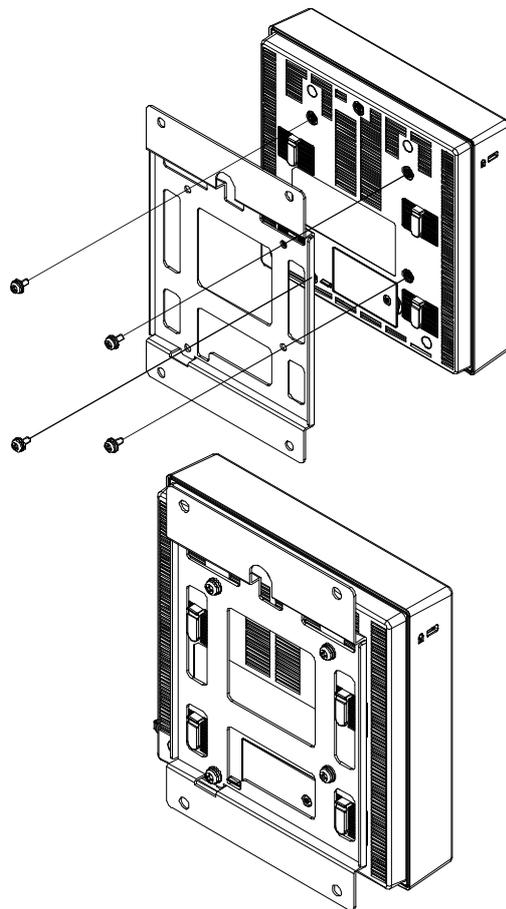


質量 約 160 g



## 壁面設置（車内）

本体と車載用取付金具を固定します。

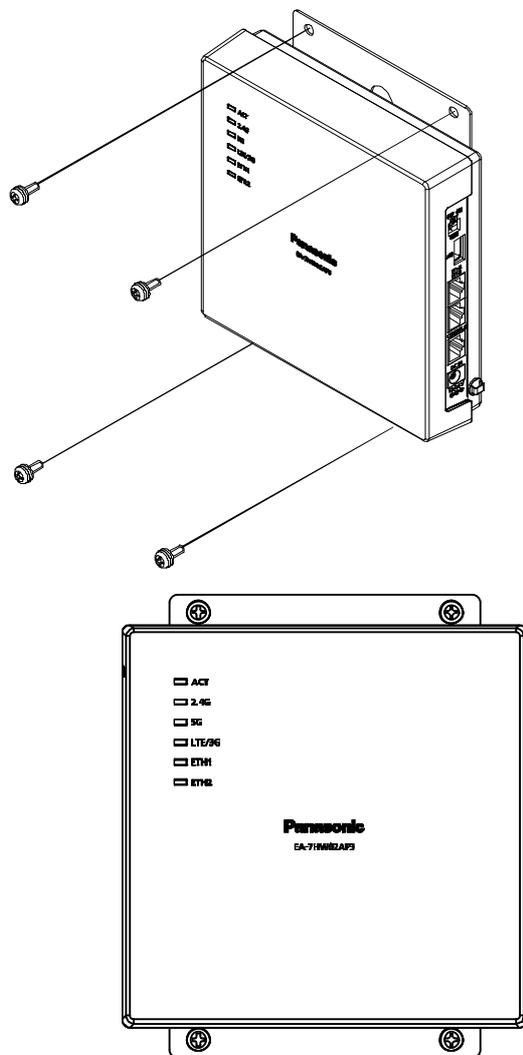


お願い

本体と車載用取付金具を固定するねじは、付属の M4 ねじを使用してください。  
(推奨締め付けトルク :  $0.85 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$  {  $8.7 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$  } )

設置場所が平滑なしっかりとした面であることを確認します。

マウonta上部のねじを設置面に仮止めします。車載用取付金具が平行になることを確認し、上下4本のねじをしっかりと締め付けます。



お願い

車載用取付金具を設置面に固定するねじは、呼び径 4 mm でトラスもしくはバインドのものを使用してください。

(推奨締め付けトルク :  $0.85 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 0.12 \text{ N} \cdot \text{m}$  {  $8.7 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \pm 1.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$  } )

本ねじは、壁面の材質に合わせて工事業者様にて準備をお願いします。

取付場所のねじ引き抜き強度は、1本あたり  $30 \text{ N}$  {  $3.1 \text{ kgf}$  } 以上が必要です。

車内の天井には設置できません。

# こんなときには

本装置に障害が発生した場合の対処方法を説明します。

点検を行い、対処方法で解決しない場合は、お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社へご相談ください。

症状		点検	対処方法
ACT LED が点灯しない		DC プラグがはずれていませんか？	本体に DC プラグを接続してください。
		AC アダプタと電源コードがはずれていませんか？	AC アダプタと電源コードを正しく接続してください。
		RSSI SW が ON になっていませんか？	RSSI SW を OFF にしてください。
通信ができない	データの送受信ができない	Ethernet ケーブルがはずれていませんか？	Ethernet ケーブルを正しく接続してください。
		Ethernet ケーブルが断線していませんか？	Ethernet ケーブルの通電を確認するか、ケーブルを変えて接続してください。
		無線ユニットと端末の間に通信を阻害する障害物はありませんか？	障害物を取り除くか、無線ユニットの設置場所を変えてください。
		LTE/3G の電波を受信できる場所に設置していますか？	RSSI スイッチを ON にして、電界強度を確認してください。電界強度が低い場合、無線ユニットの設置場所を変えてください。
Wi-Fi 端末から本装置を検索できない	SSID を隠蔽する設定になっていませんか？	取扱説明書（設定編）に従い、SSID の隠蔽を解除するか、あらかじめ Wi-Fi 端末に接続可能な設定をしてください。	
	無線ユニットに電源が供給されていますか？	電源が入っていることを確認してください。	
その他	コンソールからログインできない	コンソールの通信ソフトの設定は正しいですか？	取扱説明書（設定編）に従い、通信ソフトの設定を行ってください。
		ログイン名、パスワードは正しいですか？	正しいログイン名、パスワードにて再度ログインを行ってください。
	本装置に設定が反映されない	設定を確認します。	取扱説明書（設定編）に従い、当該設定データ反映とリセットコマンドにより設定を反映させてください。

# 仕様

## 本体

項目		仕様	
有線 インター フェース	Ethernet	10/100/1000BASE-T 2ポート	
	CONSOLE	RS-232C	
	USB	USB2.0	
無線 インター フェース	Wi-Fi 2.4 GHz	対応チャネル	IEEE802.11b/g/n (1ch~13ch)
		通信速度	最大 400 Mbps
	Wi-Fi 5 GHz	対応チャネル	IEEE802.11a/n/ac(wave2) (W52: 36ch~48ch、W53: 52ch~64ch、W56: 100ch~140ch) 省令により、屋外での W52、W53 の利用は禁止されています。
		通信速度	最大 867 Mbps
	LTE /3G	対応周波数	2.1 GHz(Band1)、800 MHz(Band19)、1.5 GHz(Band21) 1.7 GHz(Band3)
		通信速度	下り 最大 150 Mbps、上り 最大 50 Mbps
電源		DC 12/24 V	
消費電力		14.4 W 以下	
動作環境		温度: 0 ~ 40 湿度: 5 % RH ~ 95 % RH (結露なきこと)	
外形寸法		W 160 mm × H 160 mm × D 40 mm (公差、突起物を除く)	
質量		約 470 g	

## ACアダプタ

項目	仕様
入力電圧	AC 100 V-240 V ただし、付属の電源コードは AC100 V 用です。 AC 200 V で使用するときには、別途ご準備ください。
出力電圧 / 電力	DC 24 V / 36 W
動作環境	温度: 0 ~ 40 湿度: 5 % RH ~ 95 % RH (結露なきこと)
外形寸法	W 48 mm × H 109 mm × D 34 mm (公差、突起物を除く)
質量	約 300 g

# 保証とアフターサービス よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

まず、お買い求め先へご連絡ください。

お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(       )       -
お買い上げ日	年       月       日

修理を依頼されるときは

「こんなときには」でご確認のあと、直らないときは、電源を落として、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	業務用 Wi-Fi 基地局
品番	EA-7HW02AP3
故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間中は、保証書の規定に従って修理（交換）いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理（交換）させていただきます。

修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・調整・点検などの費用
部品代	本体および付属品代
出張料	技術者を派遣する費用

補修部品の保有期間 7 年

当社は、本製品の修理（交換）用として本体および付属品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

使い方・お手入れ・修理などは、まずお買い求め先へご相談ください。

その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/it/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

---

## パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号

© Panasonic System Solutions Japan Co., Ltd. 2016

M1116-2087  
PYQX1095ZC/J1